

教材の対象 ▶ 中学2年生 国語〈先生向け〉
記者になって「走れメロス」を記事にしよう！

※この教材学習の始めに、このはがき新聞を書くことを伝えておくことで、心構えやノートへのメモなどが書けると思われる。また、はがき新聞を書くときの材料が残る。



時間配分
(目安)

- ① 導入（課題の説明） …… 5分
- ② はがき新聞の作り方説明 …… 5分
- ③ はがき新聞制作 …… 30分
編集後記 40字程度書かせる
- ④ 振り返り …… 10分

学びを広げるポイント

- ミテミテ（理想教育財団助成品）に入れて互いに感想を述べ合う。感想を読むことで、自分の理解との相違にも気がつく。人物を捉えた視点や、違う考え方を読むことで新たな学びにつながる道を意識させられる。

5 最初の三行は空けましょう。
(見出しの場所)

6 書くときは常体(「～だ」「～である」)がいいでしょう。「いつ」「どこで」「なぜ」「どのように」「だれが」「どんな風に」など「5W1H」を意識して書いてみましょう。

7 編集後記(はがき新聞を作った感想)は50字です。

8 書けたら、必ず読み返しましょう。誤字脱字、表現のおかしなところはないか確認しましょう。句読点の多い少ないも確認しましょう。
(句点「。」は40字で1つくらい)

9 書き終えてから、見出しを考えましょう。
「見出し」は、何を書いたかという説明ではなく、この新聞に何が書かれてあるのか、を書きます。登場人物の感情の変化の何に驚いたか、どんなところがすごいのか、などを書きます。9文字程度で表しましょう。見出しを見ただけで、記事の内容が分かるような言葉を使います。「～です」「～だ」は使いません。「…」も使用しません。

10 「編集後記」に「はがき新聞」にまとめた感想を書きましょう。

11 時間があれば、枠の外側、題字、見出しなどをカラーにしてみましょう。